

# 北斗市公式キャラクター ずーしーほっきーのできるまで



**北**斗市では、平成27年度の北海道新幹線新駅開業を目前に控えた平成24年度に、北斗市を道内外にPRしていくため、小さい子どもからお年寄りまで人気を集めている「ご当地キャラクター」を制作しようと考えました。

キャラクターの制作方法は、全国からの公募や、企画制作会社への民間委託などいろいろなものが考えられましたが、北斗市、函館市、七飯町で構成している「函館圏公立大学広域連合」で設置・運営している地元の大学で、情報発信を学術の柱としている『**公立はこだて未来大学**』に制作に協力してもらおうのが、若者の柔軟な発想や、専門的な見地を取り入れる上で、最良なのではないかと考え、同大学に協力を求めました。

**同**大学では、大学3年生の必修カリキュラムとして、地域社会や企業等と連携し、地域が抱える問題をテーマに、1年かけてその問題解決までのプロセスを実体験する「**プロジェクト学習**」を実施していますが、この学習テーマの一つとして「ご当地キャラクターの制作」を取り上げようということとなり、**当市と公立はこだて未来大学との協働プロジェクト**が平成25年度から始まりました。

●平成25年4月17日(水) 【プロジェクト学習説明会】

**プロジェクトメンバーを募集、12名の学生が集まる**

はこだて未来大学では、まず上記プロジェクトの学生を募集するため、3年生を対象に担当教員からプレゼンテーションを行う説明会が実施されました。

当日は、市職員も同席し、市の観光パンフレットや市特産のトマトジュースを配りました。

この説明会の結果、当プロジェクトには、12名の学生が集まりました。

## ■北斗市ご当地キャラクタープロジェクト「HOCTORY」



ずーしーほっきーをデザインした、公立はこだて未来大のデザインプロジェクトチーム。「HOKUTO」と、工場を意味する英語「FACTORY」を合わせ、「北斗市のキャラクターをつくる工場」という意味が込められている。

●平成 25 年 5 月 24 日（金） 【市長との対面式】  
全国のご当地キャラの分析結果を発表



プロジェクトのスタートとして、市長との対面式を行いました。

対面式では、プロジェクトチームである未来大「HOCTORY」のメンバーが、これまで行ってきた全国のご当地キャラの分析結果を発表。

「見た目」、「性格・生い立ち」、「マーケティング」の観点から分析し、「ギャップなど意外性を持たせると

人気キャラに」、「動物をモチーフにすると、イメージを持ちやすく人気につながる」などの仮説を披露しました。

市長からは、この分析を受けて「その分析力に圧倒された」との感想がありました。



↑市長の前で全国キャラの分析結果を発表。

●平成 25 年 6 月 5 日（水） 【新幹線開業に関する学習会】  
市の新幹線開業の取組みを学習

ご当地キャラクターの制作は、新幹線開業PRの一環として取り組んでいるため、市役所で学習会を開き、「HOCTORY」の皆さんに、「新駅前の周辺整備」、「新駅周辺の企業誘致・産業振興」、「開業に向けた観光振興」、「開業PR」について学んでもらいました。

●平成 25 年 6 月 19 日（水） 【第 1 回フィールドワーク】  
市の観光スポットを視察

市の魅力を知ってもらうため、「HOCTORY」のメンバーに、市内の主な観光スポットを視察してもらいました。

トラピストバターやクッキーなどで道外にも名の知れた「**トラピスト修道院**」では、礼拝堂を見学。修道士の方から修道院の成り立ちや修道士生活のお話を伺い、パイプオルガンの音色も聞かせてもらいました。外では、同修道院で日本



↑トラピスト修道院礼拝堂の入口で説明を受ける。

文学の講師を務め、同地で「赤とんぼ」を作詞した詩人、三木露風の碑を見学し、売店ではトラピストバターを使用した濃厚な味わいで評判のソフトクリームを味わいました。

次に、5月には満開の桜並木が美しい、箱館戦争の史跡、「**松前藩戸切地陣屋跡地**」を見学し、市の歴史探訪を行いました。

最後に、晴れた日には大沼から函館山まで360度の眺望が開ける、「**きじひき高原**」のパノラマ展望台に登り、市の自然を体感しました。

## ●平成25年6月28日（金） 【第2回フィールドワーク】

### 市の特産を視察

ご当地キャラクターは、特産を基にしたものが多いため、市の主な特産の生産現場を視察しました。

**上磯郡漁協**では、ホッキ漁の現状を聞き、4本の爪が付いた「やす」で資源を守りながら、ホッキ貝を獲る伝統漁法「**ホッキ突き漁**」の映像を見たり、「やす」のレブリカと水槽で「ホッキ突き漁」を疑似体験しました。

次に、**新函館農協の直売店「あぐりへい屋」**を訪問。市の農業や農産物を使った商品などの説明を受け、地場産トマトを使ったソフトクリームを味わいました。

最後に、清川の農家を訪ね、**トマト栽培**の現状をうかがうとともに、ハウス栽培のほ場を見せてもらいました。



↑上磯郡漁協で「ホッキ突き漁」を疑似体験。

## ●平成25年6月29日（土） 【第1回ワークショップ（市渡小学校）】

## 平成25年7月15日（月） 【第2回ワークショップ（大野小学校）】

### 小学生と一緒にご当地キャラを試作

市民に愛されるご当地キャラクターを作るには、市民の方々の故郷への思いや、市に抱いているイメージを知る必要があります。そこで、地元の市渡小学校と大野小学校で、子どもたちの声を聴きながら、一緒にご当地キャラを試作し、今後の制作の参考にするためのワークショップを開きました。

ワークショップでは、5つのグループに分かれ、市の代表的な「自然」、「食べ物」「建物(有名な場所)」をあげてもらいました。

香り豊かでジャムやワインなどに利用されている「マルメロ」や、360度パノラマ展望の「きじひき高原」、ふっくらとやわらかい触感が美味しい「ふっくらんこ(お米)」、5月には樹齢300年のしだれ桜や300mの桜並木がライトアップされる「桜」、甘くて実の締まった「トマト」など様々なものがあげられましたが、これらからキャラクターの要素を絞り込み、それを基にご当地キャラクターを個人で考えました。

個人で考えたものの要素を取り入れながら、グループ全体でキャラクターデザインを決定。グループごとに考えたご当地キャラクターをみんなの前で発表しました。



↑第1回ワークショップでの発表(市渡小)。



↑第2回ワークショップでのキャラ制作(大野小)。

## ●平成25年7月12日(金) 【プロジェクト学習 中間成果発表会】 未来大で中間成果を発表

ご当地キャラクター制作プロジェクトは、同大学の授業の一環である「プロジェクト学習」として取り組まれているため、同大学で「HOC TORY」のメンバーが、中間成果を発表しました。

発表では、「北斗市は、観光名所や特産物の宝庫であり、キャラクター制作に使用できる様々な要素を発見できた」、「ワークショップでは、小学生目線の身近な北斗市を発見できた」などの報告がありました。

## ●平成25年8月～9月 【キャラクターデザインの制作】 各学生がキャラクター案を制作

これまでのフィールドワークや、ワークショップで北斗市の「いいところ」を知り、直接触れた市民の声を参考にしながら、大学の夏休み期間中、未来大生のメンバー、それぞれでキャラクター案を制作しました。





●平成 25 年 9 月 13 日 (金) 【キャラクターデザインレビュー】  
キャラクター案に市民の意見を反映

夏休み期間中に、「HOCTORY」のメンバーがそれぞれ制作してきたキャラクター案を約 60 点に絞り込み、その案に対して、**商工会青年部、農協青年部、観光協会、中学生など市内の若者らを集めて、意見を聞くキャラクターデザインレビュー**を実施しました。

約 60 点のキャラクター案を机の上に並べて、気になったものに意見を書いた付せんを貼ってもらうスタイルで行い、様々な意見が出されました。



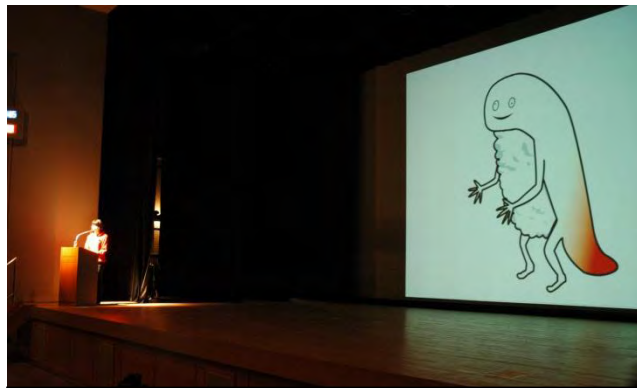
→ 60 数点のキャラが並んだレビューの様子。

●平成 25 年 10 月 30 日 (水) 【公開プレゼンテーション】  
5 つのキャラクター候補を発表

キャラクターデザインレビューで出された意見などを参考に、これまでのキャラクター案を改変し、5 つに絞ったキャラクター候補を市民の皆さんに発表する「公開プレゼンテーション」を、市の総合文化センター「かなで〜る」の小ホールで開催しました。

「HOCTORY」のメンバーが、これまでの制作の経緯や、**5 つの候補のモチーフ・**

**性格設定、今後実施する市民人気投票などについて、映像と音楽、舞台演技を交えて説明**しました。



↑市民にキャラクター候補を初披露した「公開プレゼン」。

●平成 25 年 11 月 1 日 (金) ~ 14 日 (木) 日 (水) 【市民人気投票】  
投票用紙を全戸配布、5 つの候補から 1 つを投票

市民の皆さんにキャラクターの決定に参加してもらうため、5 つの候補の中から気に入ったキャラクターを一つ選ぶ「市民人気投票」を実施しました。

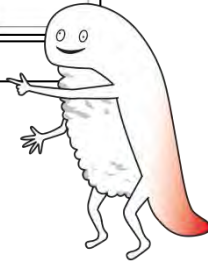
投票方法は、**投票用紙を広報と一緒に全戸配布**し、市内の主な公共施設と渡島当別郵便局に設置した**投票所（11カ所）**と、生きた鮭のつかみどりや鮭の遡上が間近で見れる「**さけまつり**」会場、**郵送・FAXのいずれかにより投票**するものでした。また、市内の小中学校、高校では、児童・生徒全員に投票用紙を配付し、**学校で投票**してもらいました。








↑ 市民に配布した市民人気投票の投票用紙。 ※表（左）・裏（右）

**●平成 25 年 11 月 27 日（水）【キャラクター決定】**  
**市民人気投票 1 位の「ずーしーほっきー」に決定**

開票の結果、**投票総数 8,951 票のうち、2,914 票の得票で 1 位**となったのは、ほっき寿司をモチーフとした「**ホッキーずーしー（仮称）**」でした。他市町村に「**ホッキー君（くん）**」という名前のキャラクターがいることが判明したため、**正式名称を「ずーしーほっきー」に変更し、投票結果と北斗市公式キャラクターの決定を市長から発表**しました。当日は、デザインを担当した公立はこだて未来大学「**HOCTORY**」のメンバーも出席し、これまで制作してきた感想などを述べました。



↑ 決定の記者発表。HOCTORY メンバーと市長が、ずーしーほっきーを囲んだ。

	1位	2位	3位	4位	5位			
投票結果	ホッキーずーしー(仮) 	ほく坊(仮) 	ほっちゃん(仮) 	やすお(仮) 	サクラカメカメ・サクラカメ(仮) 	有効票	無効票	投票者数
票数	2,914	2,333	2,322	831	471	8,871	80	8,951
得票率(%)	32.6	26.1	25.9	9.3	5.3		0.9	

●平成25年12月6日(金) 【プロジェクト学習 成果発表会】  
キャラ磨き上げの様子やこれまでの経緯を発表

大学の授業「プロジェクト学習」としての成果を、「HOCTORY」のメンバーが、はこだて未来大学で発表しました。

発表では、同大学で実施したキャラクターの調査から始まり、市民の意見を取り入れながら**5つのキャラクター候補をどのように磨き上げていったかなどに**触れながら、キャラクターの決定までの経緯や、決定後の反響、ポーズバリエーションの考案や性格付けの提案などが報告されました。



→成果発表を終えた HOCTORY のメンバーと担当教員の安井准教授(2列目右端)。



↑キャラクター候補の磨き上げについて説明。



●平成 25 年 12 月～平成 26 年 1 月 【利用規程・ポーズバリエーション制作】  
幅広い利用に向けて「規程」を作成

ずーしーほっきーをたくさんの方に幅広く利用していただくため、利用基準や利用の手続きなどを定めた「利用規程」を作成しました。

また、多様な使い方ができるように、はこだて未来大学「HOCTORY」のメンバーが、ずーしーほっきーのいろいろなポーズ（ポーズバリエーション）を制作、話し方など性格付けなどに関するアドバイスもいただきました。

●平成 25 年 12 月～平成 26 年 3 月 【着ぐるみ制作】  
平成 26 年春から活動予定

今後の様々な場面でのPRに向けて着ぐるみを制作します。  
平成26年春から、市内外のイベントに登場する予定ですので、ご期待ください。

